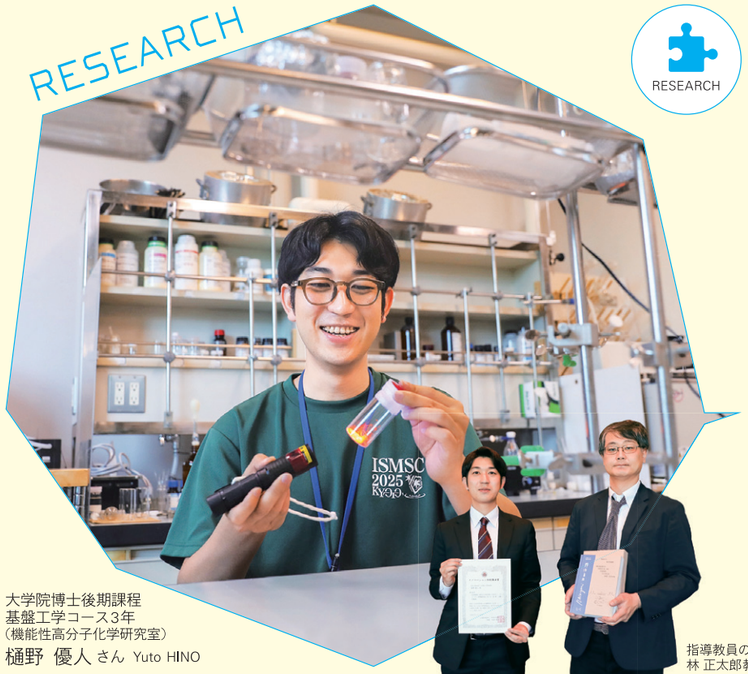
RESEARCH



RESEARCH

日本を代表する2つの学会で権威ある賞を受賞

樋野さんは、反応速度が1億分の1秒ともいわれる有機化合物「アントラセン」系結晶の反応中間状態を世界で初めて可視化し、日本化学会 第106春季年会では、さらに計算化学を用いた検証を行い「イノベーション共創講演賞」を受賞。年齢制限のない審査において、大学や公的研究機関の研究者と並び、今後の研究活動の一層の発展が期待される発表者として高く評価されました。

また、第73回応用物理学会春季学術講演会でも講演総数947件の中で「Poster Award」を受賞。樋野さんは「今後も化学の基礎を大切にしながら、従来の価値感を刷新するような研究に挑み続けたい」と語りました。

大学院博士後期課程
基盤工学コース3年
（機能性高分子化学研究室）
樋野 優人 さん Yuto HINO

指導教員の
林 正太郎教授（右）

CLASS

「里山工学」を受講する学生たちの取り組みの成果を2027年1月発表



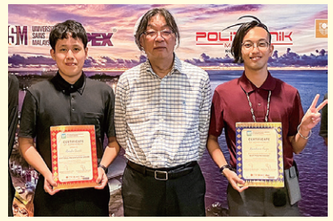
香美キャンパスから車と徒歩で約15分、香美市土佐山田町佐岡にある「里山研究フィールド」。今年度は26名の大学院生が、これまでに身につけた建築・土木、情報学、電子・光工学などの専門知識を活かし、未来の里山を再構築するために自ら見いだした課題に、1年をかけて取り組んでいます。

この「里山工学」での成果を、一般の方を対象とした「里山工学ゼミナール2026」第7回（2027年1月27日開催）で、学生たちが報告する予定です。



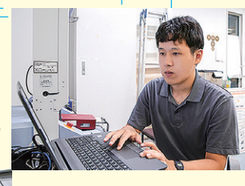
RESEARCH

複合材料分野の国際会議で同じ研究室の2名がダブル受賞



2026年7月にマレーシアで開催された複合材料分野の国際会議「14th Asian-Australasian Conference on Composite Materials（ACCM2026）」において、大脇さんは、航空機などに使用される炭素繊維強化プラスチックの製造工程を効率化する研究を口頭発表。笠原さんは、自動車や航空機への応用が期待される複合材料の可能性についてポスター発表を行い、それぞれ優秀発表賞を受賞しました。指導教員の高坂 達郎教授（写真中央）は、「研究だけでなく、英語での発表練習にもよく取り組みました」と2名の努力を称えました。

大学院修士課程
知能機械・航空宇宙工学コース2年
（先端機械・航空材料工学研究室）
大脇 滉介 さん Kosuke OWAKI（右）
笠原 颯我 さん Fuga KASAHARA（下）





KUT COLORS 学生たちが織りなす「カラフルな日常」

NEWS&TOPICS

学生が起業したAI・IT会社が「大学発 スタートアップ企業」に認定



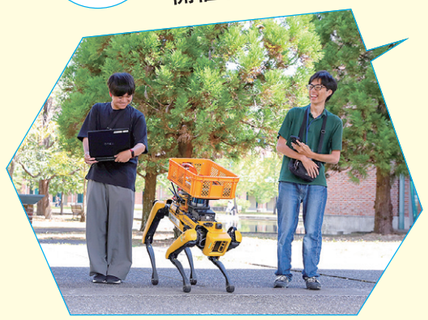
学生や教員の研究成果を社会に還元する「大学発スタートアップ企業」への育成支援が始まり、岡山さんが設立した株式会社Reflengeが、その第1号として認定されました。今後3年間、大学施設や研究設備の利用、技術・経営に関する助言・指導といったサポートが提供されます（再申請可）。併せて、岡山さんには、学業と経営の両立を経済的に支援するために、磯部 雅彦前学長の名を冠した「磯部スタートアップ基金」からの奨学金支給も決定しました。



大学院修士課程
情報学コース1年
岡山 蒼衣 さん
Aoi OKAYAMA

NEWS&TOPICS

大学を見て、触れて、感じる！オープンキャンパスを開催しました



今年も香美・永国寺の両キャンパスにてオープンキャンパスを開催し、8月1日・2日の2日間で約2,600名の高校生とご家族にご来場いただきました。

ほぼすべての研究室を公開、模擬授業から部活動見学まで、高知工科大学のリアルを体感できるプログラムが用意されました。キャンパスツアーや相談コーナーでも在学生が活躍。本学の魅力を様々な角度から紹介しました。





CLUB



男子バレーボール部が四国大学バレーボール春季リーグ戦で3年連続6回目の優勝！

「繋いで粘る全員バレー」を掲げるチームは粘り強く戦い、4戦全勝で優勝。個人賞でも、男子バレーボール部のキャプテンを務める和泉 創大 さん（経済・マネジメント学群4年、写真前列左から3人目）がサーブレシーブ賞を受賞しました。



EVENT



今年のテーマは「継翔（けいしょう）」。総勢約90人が、よさこい祭りで躍動



学生有志による高知工科大学よさこい 踊り子隊が、「第6回 土佐学生よさこい大会」（8月9日）と「第73回よさこい祭り」（8月10・11日）に出場。来年の出場30周年に向け、伝統をつないで飛翔し続けたいという思いで演舞を披露しました。